

グロウ アップ  
**GROW UP** ~成長~

**伊達支部中体連総合大会開催!**

今週6月8日(水)から10日(金)まで、「伊達支部中体連総合大会」が開催され、それぞれの競技で熱戦が繰り広げられました。(本来は、8日(水)、9日(木)の2日間の日程でしたが、屋外競技は悪天候のため、日程を1日順延としたため、本日(金)まで競技を行っています。)特に3年生にとっては、3年間の活動の集大成でもあるために、非常に強い思いで臨む大会です。

もうすでに、上位大会である「県北地区中体連総合大会」に出場を決めた競技もあれば、残念ながら敗退が決まった競技もあります。詳細は、後日、学校から配付される各競技の結果一覧表をご覧ください。

なお、伊達中学校ホームページにも、様々な情報が載せられています。競技によっては、試合の流れの様子をたどることもできるため、是非、そちらもご覧ください。

1年生の中にも選手として出場した生徒たちがいますので、次号では何人かピックアップして、その生徒たちの感想を載せたいと思います。



支部中体連総合大会の様子

**期末テストが近づいてきています!**

つい先日、中間テストが終わったばかりだと思ったら、何と!ちょうど2週間後の6月24日(金)が期末テストです。

今週月曜日には、範囲表を配付し、「総合」の時間を活用しテストの計画を立てました。今週は支部中体連総合大会などがあり、運動部のみなさんは何かと忙しかったと思いますが、ここからの2週間は計画表を最大限に活用し、継続してテスト勉強に励んでほしいと思います。

裏面にも書きましたが、テスト問題に対応できる学力をつけるために、「今、できないところはどこか」を見極めて、「そこができた・分かった」と実感できるような学習に取り組んでいきましょう。



テスト計画を立てました

**教育実習生紹介**

今週6月6日(月)から6月24日(金)までの3週間、3名の教育実習生が本校で実習を行っています。その中で、1年1組に所属し、主に1学年の社会科を担当している実習生に自己紹介をしてもらいました。

「教育実習生の加藤彩美と申します。教科は社会を担当しています。皆さんに社会を好きになってもらえるよう頑張ります。廊下や教室で見かけたらぜひ声をかけてください。3週間、よろしくお祈りします。」



かとうあみ  
加藤彩美先生

**【 次週の予定 】**

月日(曜)	朝自習	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	清掃	部活	行事・連絡事項等	下校完了
6/13(月)	読書	月1	月2	月3	月4	月5	月6	○	○		18:30
6/14(火)	予想問題英	火1	火2	火3	火4	火5	火6	×	×	B日程, 職員会議④	15:35
6/15(水)	予想問題社	水1	水2	水3	水4	水5	水6	○	○	尿検査(第2次)	18:30
6/16(木)	予想問題国	木1	木2	木3	木4	木5	木6	○	○		18:30
6/17(金)	予想問題数	金1	金2	金3	金4	金5	集会	○	○	全校集会, 7:30前職員室入室禁止~24	18:30

長文で失礼します。時間のあるときにお読みいただければと思います。

## テストの順位、そりゃ、良いに越したことはないが…

ちょうど一週間前の先週金曜日に、生徒のみなさんに、中学校で初めての定期テスト「1学期中間テスト」の「成績表」を配付しました。保護者の皆様もご覧になられたかと思います。

さて、その得点や順位はいかがだったでしょうか？

良い順位で喜んだ人、点数が伸びずガッカリした人、予想通りの順位だったという人、さまざまだったと思います。思いはいろいろあるでしょうが、今回の順位を「自分の基準」として、「ここからがスタート」と考えてもらえればと思います。

例えば徒競走で、あまり努力しなくても速く走れる人がいれば、一生懸命練習しているのに全然速く走れない人もいたり、運動能力には差があります。

同じように学習に関してもいろいろなタイプの人がいると思います。ここで大事なのは自分の特性を知り、それに応じた努力をすることだと思います。

授業で1回聞いただけで理解できてしまう人（うらやましい！）、家庭学習で何度も復習してやっと理解できる人、人それぞれです。そんな自分に合った学習方法を見つけ取り組むことで、自分の学力を伸ばすことができるということです。

中には時間をかけて丁寧に学習しているのに思うように理解できない、点数が伸びないと感じる人もいるかもしれません。その場合は、本当に自分に合った学習方法なのか、定期テストに対応できる学習方法を行っているのかなどを検証する必要があります。

支部中体連大会があった日、学校で生徒が取り組んでいた自習プリントを見ていると、「自力で解けた問題は解答欄に答えを記入し、できなかった問題の解答欄は赤ペンで模範解答を『丸写し』して空欄を埋める」というパターンを行っていた生徒が案外多くいました。しかし、模範解答を1度書き写しただけでそれを憶えることは難しいので、模範解答を書き写して安心していることは“大きな落とし穴”と言えるでしょう。解けた問題は理解できています。解けなかった問題こそ、現在理解できていない＝重点的に復習すべきところ、だということです。

学習の理解や定着にコツはあるかもしれませんが、近道はありません。ドラえものの「暗記パン」などないのです。時間をかけて地道に取り組んではじめて、自分の力になるものです。では、努力を続ければ必ず1番になれるのか？残念ながらその保証はありません。しかし、例えば1年後の自分を考えてみます。…今、全く学習に取り組んでいない自分がそのまま1年経ったら…。ここで気持ちを入れ替えて本気で学習を頑張ったら…。

1番にはなれないかもしれませんが、きっとそこには大きな違いがあるはずです。

他の人の順位をうらやむのではなく、1年後の自分の順位を目標に、あるいは「2年と6ヶ月後」のテストの得点を目標に努力を継続していくのが大事なのではないのでしょうか。

そう、ライバルは他ならぬ「自分」なのです。



本文と写真は関係ありません。  
情報科学部の活動の様子



本文と写真は関係ありません。  
吹奏楽部の活動の様子



本文と写真は関係ありません。  
華道・茶道部の活動の様子